

事務事業評価シート(浜田市作成分)～令和6年度実施事業～

■事業の位置づけ（基本事項）			担当課 係		健康医療対策課	地域医療対策係
事務事業名	地域医療連携事業		事業予算費目（一般会計）			
総合計画 の位置づけ	大綱	Ⅱ健康でいきいきと暮らせるまち	款	04	衛生費	
	施策大綱	Ⅱ-1 医療体制の充実	項	01	保健衛生費	
	基本目標	4 地域の特性を活かした安心して暮らせるはまだづくり	目	01	保健衛生総務費	
	主要施策	Ⅱ-1-1 医療従事者の確保	事業	270	地域医療連携事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	医療従事者の育成・支援等を実施し、浜田医療センターと医師会との連携による地域医療体制の確立を目指すことを目的とする。	事業の内容	・医療従事者の育成に向けた支援 ・看護職員育成体制安定化に向けた支援 ・地域医療に対する啓発活動 ・産婦人科分野の研究委託
市民ニーズの把握状況	市が事務局を担っている「浜田の地域医療を守る会」の事業を通じて医療・人材育成に関するニーズ等を把握した。	市民参加・協働の有無 その内容	左記の事業において市民の参加あり。 「駅北医療フェスタ」を民間、医療センター、看護学校と共催。 小中学校において子どもたちに地域医療学習を提供。

■事務事業の業績・推移（DO）

設定した目標				目標/実績	目標/実績	目標	目標			
				R5	R6	R7	R8			
目標と実績	事前周知を図り、地域医療教育推進事業に取り組む小中学校を増やす（市内小中学校数23校）		目標	25校	23校	20校	23校			
	設定した理由・背景			実績	13校	13校				
	小学生、中学生の時期に地域医療の現状及び課題を知り、ふるさとの将来に果たすべき役割について考えてもらい、医師、看護師及び薬剤師等医療従事者に興味を持ち、それを目指す児童、生徒を増やす。									
			R5年度決算		R6年度最終予算		R7年度予算		市民1人当たりのコスト	
事業費	総事業費		14,956,048	11,613,000	11,932,000	R5	298			
	財源内訳	国県支出金	910,000	910,000	2,000,000	R6	237			
		地方債				各年度4月1日時点の人口				
		利用者負担・その他	480,000	450,000	30,000	R5	50,129			
		一般財源	13,566,048	10,253,000	9,902,000	R6	49,096			

■評価（CHECK）

事業実施・実績に対する意見や評価など	・地域医療教育推進事業については、事前（3月）に各学校を回り、事前周知に努めたが、申請まで期間が短かったこともあり、実績が前年度と同数に留まった。実施内容としては、それぞれの小中学校が地域医療学習に取り組み、子どもたちが医療従事者を目指すきっかけづくりになったと考える。 ・事務局を担っている「浜田の地域医療を守る会」については、事業を通じて、医学生や地元出身医師との交流を活発に行うことができた。 ・全体として、計画通りに事業に取り組むことができたと考える。
--------------------	--

■改善・効率化の方向性（ACTION）

令和7年度執行に向けた工夫点 今後の課題など	年度初めに医学生との交流などの年間のスケジュール調整を行い、遅延のないよう事業を進めていく。 令和7年度から2か年、しまね地域医療支援センター（島根大学内）に職員派遣を行う。この職員と連携し、これまで以上に、浜田市出身の医学生を支援する。 事業を協働で行うなど、江津市（済生会江津総合病院）との連携も図っていく。 看護職員の確保対策を講じることを喫緊の課題ととらえ、対応を検討していく。
---------------------------	--